

参加者からの事前意見分類
 テーマ「私が」住みやすい小山にするためには？

No.	テーマ分類	要約	特に意見交換を行いたい内容を簡潔に（意見の概要）
1	①教育・子育て	難聴者等の障がいのある方が住みやすい街	仕事とは別に難聴者に情報保障する派遣制度で、要約筆記通訳者として活動しています。小山市は栃木県で2番目に人口が多いため、難聴者も沢山いると思いますが、要約筆記派遣事業と養成事業はありません。小山市は手話通訳者等派遣事業、養成事業しかないため、要約筆記に対する理解が低いと思います。これは一例ですが、小山市が福祉施策で遅れてしまっていると思います。障害のある人も無い人も、もっと暮らしやすい場所にすることが、住みやすい小山市に繋がると考えています。
2	①教育・子育て	中学生が暮らしやすいまち	中学生となった子どもの話から、中学生の自転車通学の学校指定のヘルメットの改善を希望します。☒小山市内の中学校はどれも白い指定のヘルメットを使用していると思いますが、通気性が非常に悪く、夏場はかなり暑いそうです。通気性の良いヘルメットへの変更を希望します。☒子育てというと保育園、幼稚園、小学校が目目されがちですが、中学校まで視野を広げて欲しいと思いました。
3	①教育・子育て	子育てしやすいまち（子供の居場所対策）	子どもが小学校に入学するのに合わせ、小山に引っ越ししてきました。当初は都内へ通勤していましたが、現在は市内企業に転職し、子どもは現在小学3年生で、放課後に学童保育を利用しています。ただ、圏区内の学童保育はほぼ4年生までを想定した定員の為、5年生になったら必ずと退所をせざるを得ない状況です。☒民間学童保育の利用を市からご案内頂きましたが、費用は今の5倍程かかる見込みの民間塾が運営している民間学童が1箇所あるだけでした。☒ひとり親家庭だけでなく、共働き世帯も数多く、更に都心へ通勤している方は帰宅も遅くなりますが、小山市の学童保育は首都圏と比べて終了時間も早く、高学年以降に利用できるサービスや選択肢があまりに乏しい状況だと思います。☒都心では小学校を活用したアフタースクールや民間サービスも様々、選択肢があります。小学校を卒業しても子育ては続きますので、子供の居場所対策について早急な対応を希望します。
4	①教育・子育て	学童保育の充実など	利用している学童保育は保護者運営の施設であるため、保護者の負担が大きく、役員に選ばれば私的な時間を削るだけでは足りず、会社も休みながら学童の運営の為に奔走しなくてはならない。私も会長職を経験しましたが、何のために働いているのか、子供との時間を削ってまでと葛藤もありました。民間法人に委ねるといった選択肢もありますが、手続きも煩雑で一年毎に役員が改選される状況下で、民間法人に委ねる決断に至るにはハードルが高いです。住みよい小山とするには子育て世代、働き盛り世帯が安心して仕事ができ、健やかに子育てが出来る環境が必要であるため、役割の一助となるべき学童保育については小山市の積極的な取組みが必要と感じます。また、高速道路のインターチェンジまでが遠すぎるので、近場で乗れるような誘致ができないでしょうか。
5	①教育・子育て ②まちづくり	動物との触れ合い	小山市内に小さくても構わないので動物公園を作りたいです。昨年子どもが生まれ、近所に小さな公園はたくさんあり、連れていきますが、動物と触れ合える場所はありません。キリンやゾウのような大型動物はいなくても、うさぎやモルモット、小鳥等の小型動物と触れ合える環境があれば良いのと感じています。かつては、小山ゆうえんち内に動物園があったと伺いました。私も動物が好きなので、子どもにも触れ合わせてあげたいです。
6	①教育・子育て ③市民生活	少子高齢化社会での街づくり	少子高齢化社会と言われる中で、社会に貢献してきた高齢者と未来を担う子供達の両方が住んで良かったと言ってもらえる小山市になっていくような街づくりの施策が必要です。コロナ禍で顕著となったのが、外出自粛に伴い10人程度の人が集まれる場所がほとんどなく、趣味や特技を披露する場や会話する機会が極端に無くなってしまいました。今後はこういった機会や場所を減らさないようにして欲しい。また、高齢者が生きがいを持って活躍できるように子供の見守り隊や声掛け隊のような組織の設立・入会などといった取組みを市が実施する事業の中で支援して欲しい。そうすれば、地域防犯力の強化や交通安全の向上が図られるだけでなく、子供達にとっても、親以外の大人とのコミュニケーション力が向上し、高齢者も社会と繋がることで、振り込み詐欺の防止にも繋がると思います。この他に、高齢者の免許返納を進めるなら、医療機関や介護施設などの公共交通の利便性を向上させて欲しい。
7	②まちづくり	地域資源の有効活用	自然豊かで水と緑に恵まれた小山市であることから、それらの自然環境を守ることはもとより、地産地消の食と農の推進、新しい農業経営に若い力を導く事業の推進、新しい農業経営に若い力を導く事業の推進、子育て環境の整備保護された安全安心な生活環境の再構築及び新規参入者に対する支援が大切であります。実りある地域作りが重要、ひいてはSDGsにも貢献できるものと考えます。
8	②まちづくり	SDGsに関連する事業（用地取得と公園整備）	私共自治会には、公園や多目的広場等が無いので、子供育成、高齢者運動場、地域コミュニティ活動及び災害時一時避難所の対応を目的とし、推進すること約10年、現在、市公園緑地課が担当され、宇都宮財務局より市が取得することで推進しておりますが、最近、下野新聞に「小山市土地開発基金・廃止」とありましたが、これによる影響はないのでしょうか？本件事業は地域でのSDGsにも貢献する事業であります。
9	②まちづくり	おバスの利用促進	PTAを長年している事から、スクールゾーンの安全やおバスを利用した計画、保護者からアンケートを取りましたのでお話ししたいです。

参加者からの事前意見分類
テーマ「私が」住みやすい小山にするためには？

10	②まちづくり	自然との共生	市街地にだけでなく、郊外も発展していき、自然と人、様々な生き物が共生できる街が住みやすい、生活しやすい街だと考えます。駅周辺の都市開発も重要ですが、健康問題や世間の関心を踏まえると、自然豊かな地域を生かし、利便性を高めることが必要不可欠と考えます。
11	②まちづくり	公共施設のデザインなど	市内の道路は片側1車線が多く、常に渋滞してる印象であり、広くゆったり走れる環状線があると良い。公共施設のデザインが良くないため、利用したいと思わない。美しいものやカッコいいものが圧倒的に少ない。もっと、様々な人の感性を刺激するようなデザインの建造物を作っていくことで、人々が集いやすくなり、住みやすさにも繋がると思う。段差の大きな歩道も住みにくさを助長しており、ユニバーサルデザインも速やかに取り入れて欲しい。私が住みやすい小山になるためには美しさ、移動のしやすさ、人に優しいことが重要です。☒
12	②まちづくり	市民との必要な施策の議論、実施	小山市に時間的な猶予があるうちに、子育てしやすい小山にするにはどうすれば良いのか、老若男女が様々な意見を出し合い、喧々諤々な議論を重ね、取りまとめた施策を実行していただきたい。子供達の歓声が住みやすい小山を象徴することになると思う。☒ 若者が働く職場の確保も重要となるため、先進技術関連等の未永く地域に根付いてくれるような企業誘致を小山を挙げて取組んでいくと良い。☒ 街の歩道の整備の推進。初めて小山に足を踏み入れた方は、歩いたときに感じる歩道の様子や街並みの風景から様々な印象を受けることから、街の歩道整備は大切なことだと思う。趣味で大きなお金がかかることだが、市民と一緒に、中長期的に計画を立案し、実施して欲しい。☒
13	②まちづくり	都心からの企業誘致	世代や置かれている環境によって住みやすい街の基準は変わると思います。☒ 高齢者や車を持たない人にとっては交通機関を充実させてほしいでしょうし、主婦層にとっては様々な買い物が一定のエリアで済ませる街が住みやすいと思います。また子育て世代には、安全に遊ぶ公園や空間があると良いですし、安全な通学路も必要だと思います。☒ 結果、住みやすい街とは、多様な人たちの『不』を解消、または軽減できる街だと思います。☒ 様々な対策を打つためにはやはり資金が必要になるため、財政再建と併せて施策を実施するには、人口を増やすことより、企業の誘致が大切だと考えます。☒ できれば都心から企業を誘致し、人流を増やすことで店舗やサービスの相乗効果が期待できると思います。
14	②まちづくり	鉄道と道路を踏まえた都市計画	「おーバス」の奮闘は評価するが、前回の市民フォーラムでは、公共交通の充実を求める意見が多かった。鉄道・道路交通の要衝地を標榜する小山市としては、公共交通が少し残念な現状にあると思われる。市内に限って交通状況を見ると、普段の生活では車も人も小山駅には近寄りにくい街となっている。宇都宮線、水戸線、両毛線が小山駅を中心にして市内を東西南北に分断しているため、車や人が動きやすい都市計画が必要だと思う。
15	②まちづくり	「都田舎（といなか）」のまちづくり（城山公園等）	小山に住んで足掛け7年になります。都会と田舎の中途半端なバランスの小山「都田舎（といなか）」の雰囲気が好きです。 今は工事中ですが、立地条件に優れている城山公園を一年中催し物や習い事に使用できるような場所にしてはどうでしょうか？ また、もっと子育てしやすい街になるよう力を注いでいけば、小山で育った子供達のエネルギーが将来の小山の力になるのではないのでしょうか？この他、小山で事業したい方を積極的に誘致してはどうでしょうか？
16	②まちづくり	交通手段の充実など	住みやすい小山にするためには交通手段の充実が必要だと思っており、おーバスの利便性を向上させるため、通勤時間帯の本数増加、歩行者及び車両運行を妨げないバス停の設置、これらを踏うためにLINEとの連携のアピール、回数券の早期開始などに着手し、利用者増加を図って欲しいと思います。次に、小山駅の活用について、まちづくりワークショップに参加した際に、各テーブルからコミュニティスペースの充実や自然との触れ合いなど、様々な意見が出されましたが、私も同じ思いを持っており、最後に、歩道の整備、具体的には雑草取りが必要だと思っています。
17	②まちづくり	小山市の特長を生かした活性化	車社会の中核都市が小山市だと思います。 小山市には思川や城址公園、城東公園、県南公園、須賀神社など年齢単身ファミリー満遍なく散策出来る場所が沢山あります。休みや夕方にはウォーキングやランニングなど健康作りに勤む人も増えたと思います。こういった場所へ夜に出掛けても安全に過ごせる街にするため、街灯を増やし明るくすることや市民の地産地消促進と市外通勤者の為に、名産品を用いた飲食店を駅の周りに増やすなど、色々あると思います。 先日、第1回市民フォーラムにも参加させて頂きましたが、とても有意義で楽しかったので、また参加申し込みしてみました。
18	③市民生活	収集所の維持・管理	日々の生活の中で最も身近なもの1つに町内会との関わりがあります。その中でも特に欠かすことのできないのが「家庭資源・ごみ」の排出と収集かと思っています。私が居住している町内会では、この収集場所を一区所に固定せず、1年毎の輪番制で全員参加で行っています。当番の方は違反ごみの確認やネットの管理等の責任を1年間担当します。この頃特に感じることもあります。改めてご近所を見てみると、お互いに歳をとりました。加えて連れ合いを亡くされる方も散見するようになりました。果たしてこの輪番方式が何時まで続けられるのかと不安がよぎります。以前、限界集落という言葉が新聞誌上等に載りましたが、一見些細な様に見えるこのようなごみの取集場所の管理等にも現れるのかとも思ったりします。皆さん方の町内会ではどのようにしておりますか？

参加者からの事前意見分類
 テーマ「私が」住みやすい小山にするためには？

19	③市民生活	街に対する意識	市民一人一人が小山市を住みやすくしたいという意識を持つことが必要だと思います。また、市長及び行政が市民の意見を聞いてくれる体制があるにも関わらず、市民に認知されていないような気がします。☒して、できる限り多くの市民が前向きに生活していくことが重要だと思います。
20	③市民生活	地域との繋がり	私はコロナ禍に引っ越したためか、引っ越したマンションの中だけでなく、その付近の地域との繋がりが作りにくいという状況に直面しています。個々の暮らしだけを考えれば、十分に住みやすい環境ですが、子育てや防災、今後のまちづくりを考えると、いまの状況は本当に住みやすいのか？と疑問符が付きまします。☒ これからも小山に住み続ける上で、ニューノーマルな中でも、新たなコミュニティが築けるような、いろいろな場所で気軽に人と繋がれる、楽しめる、アイデアが浮かぶ、かたちにする、そのようなつながりがたくさん生まれる街、小山になればいいと考えています。
21	③市民生活	市民間のあいさつの推進	小山市に移り住んで4年目になります。散歩をしているとき、すれ違う人とまれに挨拶を交わす時があります。顔見知りではなくても、挨拶を交わすと気分が爽やかになります。☒ 一つのイベントとして、日にちを決めてその日小山市内で人とすれ違った場合は、【挨拶を交わそう】キャンペーンを実施して小さな自慢の一つにすると親しみがより増すと思います。